

作付面積拡大に向けた具体的な対応策について

作付面積拡大目標: **20,000ha**
(H18年度第2回飼料自給率向上戦略会議で合意)

都道府県積上面積: **8,059ha**

目標に対する不足面積: **11,941ha**

ブロック別平成19年度作付拡大目標面積(案)

	積上面積(ha)	農政局提示(ha)	目標面積(ha)
北海道	2,000		9,800
東北	1,977	2,000	3,800
関東	2,020	2,020	2,200
北陸	100	100	120
東海	120	450	450
近畿	178	178	180
中国四国	356	870	870
九州	1,170	1,170	2,440
沖縄	138	138	140

稲WCSの作付拡大

- ・耕畜連携事業の推進
- ・高栄養な飼料としての利用法の確立
- ・専用品種普及とこれを裏付ける種子の安定供給

トウモロコシの作付拡大

- ・事業活用によるトウモロコシ導入推進
- ・「ぱぴりか」を上回る北方適応品種の開発・普及
- ・西南暖地での二期作技術・品種の定着

その他飼料作物の作付拡大、放牧の推進

- ・農地流動化推進による飼料生産基盤の確保
農地の出し手・借り手の調整活動の活発化
- ・冬期の農地利用の推進
- ・耕作放棄地等を活用した作付拡大
- ・放牧伝道師、レンタカウ活用による放牧導入の円滑化
- ・水田、耕作放棄地等土地資源を有効活用した放牧推進

担い手としてのコントラクター育成

- ・設立時における事業の有効活用
- ・TMRセンター導入等による経営の安定化

草地の計画的な更新

- ・事業活用による更新、技術指導の推進
- ・更新時における優良品種導入